

# 平成27年度 国東市財務諸表の概要（普通会計）

## 国東市の財務諸表

- 早期に資産や債務などの情報（ストック情報）を把握するため、国が示す2つの公会計モデルのうち「総務省改訂モデル」を選択して作成しています。
- 資産の情報を正確に把握するための調査・評価の作業を、平成21年度より順次行っています。

### 貸借対照表（バランスシート）

「貸借対照表（バランスシート）」とは、これまでの行政活動によって形成された道路や施設などの資産と、それらを形成するために必要となった負債や資金との関係を示したもので、資産、負債、純資産の三つの要素から構成されています。

<b>資産</b> <b>925.7 億円</b> 市が所有している財産の内容と金額です。	<b>負債</b> <b>282.1 億円</b> 借金（市債）や将来の職員の退職金など、将来世代の負担で、返済していく債務です。
<b>【内訳】</b> 公共資産 755.3 億円 道路・公園・学校・庁舎など 投資等 80.6 億円 基金・出資金・長期延滞債権など 流動資産 89.8 億円 現金・預金・財政調整基金・市税未収金など （うち歳計現金 4.4 億円）	<b>純資産</b> <b>643.6 億円</b> 現世代がすでに負担していて、支払いが済んでいる正味の資産です。
<b>計 925.7 億円</b>	<b>計 925.7 億円</b>

### 純資産変動計算書

市の純資産（正味の資産）が、年度中にどのように増減したかを示したものです。

期首純資産残高	635.5 億円
+	
当期変動高	8.1 億円
【内訳】	
純経常行政コスト	△ 157.1 億円
一般財源等	165.2 億円
その他	0.0 億円
期末純資産残高	643.6 億円

### 資金収支計算書

1年間の市の現金の歳入（収入）と歳出（支出）が、どのような理由で増減しているかを性質別に分類して整理したものです。

期首資金残高	4.0 億円
+	
当期収支	0.4 億円
【内訳】	
経常的収支	49.5 億円
公共資産整備収支	△ 9.7 億円
投資・財務的収支	△ 39.4 億円
期末資金残高	4.4 億円

### 行政コスト計算書

市の行政活動は、福祉や教育などの人的サービスや給付サービスの提供など、資産形成につながらない行政サービスが大きな比重を占めています。そのためコスト（原価・費用）がいくらかかっているかを整理したものが「行政コスト計算書」です。

経常行政コスト	175.2 億円
【内訳】	
人にかかるコスト 職員給与・退職手当など	39.0 億円
物にかかるコスト 物品購入・光熱水費・施設などの修繕費・減価償却費など	59.3 億円
移転支出的なコスト 児童手当や生活保護費などの社会保障給付・各種団体への補助金・繰出金	75.3 億円
その他のコスト 地方債の利子など	1.6 億円
経常収益	18.1 億円
行政サービスの利用で市民の皆さんが直接負担する施設使用料や手数料など	
純経常行政コスト	157.1 億円
経常行政コストから経常収益を差し引いた額	

## 国東市民1人当たりの貸借対照表（バランスシート）

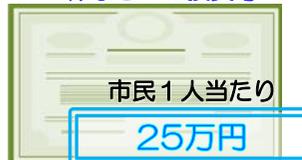
- 下記の表は国東市の人口を32,002人（平成22年国勢調査人口）として換算したときの貸借対照表（バランスシート）です。

<b>【資産の部】</b> 1. 公共資産 236 万円 2. 投資等 25 万円 3. 流動資産 28 万円 <b>資産合計 289 万円</b>	<b>【負債の部】</b> <b>負債合計 88 万円</b>  <b>【純資産の部】</b> <b>純資産合計 201 万円</b>  <b>負債・純資産合計 289 万円</b>
--	---

### 土地や建物などの公共資産



### 株などへの投資等



### 現金・預金などの流動資産



### 地方債などの借金



### 支払ったお金（純資産）

